



TITLE:

陰嚢水腫 : 附 壓迫示界法(臨床講義)

AUTHOR(S):

鳥潟, 隆三; 神部, 信雄

---

CITATION:

鳥潟, 隆三 ...[et al]. 陰嚢水腫 : 附 壓迫示界法(臨床講義). 日本外科宝函  
1929, 6(3): 775-782

ISSUE DATE:

1929-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/200366>

RIGHT:

# 陰囊水腫 附壓迫示界法 (臨床講義)

昭和四年一月廿八日

教授 醫學博士 鳥 潟 隆 三 講述  
助手 醫學士 神 部 信 雄 記

患者。小〇〇太郎。三十一歳。男。農。昭和四年一月廿五日入院。

遺傳的關係。特ニ述ベル程ノモノハナイ。

既往症。二、三歳ノ頃ニ陰囊ガ發赤腫脹シタコトガアツタ。コノ他ニ著患並ニ花柳病ヲ知ラナイ。

現在症。昭和二年四月頃(約二ヶ年前)カラ何等ノ原因ナク、陰囊ノ右側ガ無痛性ニ腫脹シテ來タ。苦痛ハナイ。昭和三年八月穿刺ヲ受ケ淡黃色透明ノ液ヲ排出シタ。コレヨリ次第ニ陰囊ノ左側モ亦タ無痛性ニ腫脹シテ今日ニ及ンダ。ツマリ今日デハ陰囊ノ左右兩側ガ無痛性ニ腫脹シテ居ル。苦痛ハ依然ナイ。

現在所見。體格ハ中等大デ骨格ハ強壯、筋肉及皮下脂肪織ハ削減シテ居ナイ。脈搏ハ正整デ一分時八十、緊張及ビ大サハ正常デアル。頭部及ビ顔面ニ著變ナク、心臟ハ濁音界及心音共ニ正常デアル。肺ハ右側鎖骨上窩ニ於テ打診上短デ聽診上呼氣強ク且延長シテ居ル。腹部及四肢ニ異狀無ク、尿ニ變化ヲ認メナイ。

教授「主訴ニヨリ局所ヲ診マス、ドウ云フ所見ガアリマスカ。」

學生「陰囊ガ大キク球狀ニ腫脹シテ居リマス。大サハ小兒頭大ヨリ稍々小サイ位デ、陰莖ハソノ爲ニ隠レテ居テ僅ニ龜頭ノ一部ヲ露出シテ居リマス。」

教授「腫脹部ノ境界ハ……?」

學生「上方ハ兩側ノ外鼠蹊輪ノ所迄、兩側ハ鼠蹊皺襞、後方ハ陰囊根部迄デ、會陰部ニハ及ンデ居リマセン。」

教授「視診上ノ其他ノ所見ハ……?」

學生「表面ハ平滑デ陰囊ノ皺襞ハ殆見エマセン。」

教授「陰性ノ所見 (Negative Befunde) モ記述シテ御覽ナサイ。」

學生「皮膚ノ發赤、靜脈ノ怒張、異常ナ搏動等ハアリマセン。」

教授「僅カナ所見ヲモ見逃サナイ爲ニ、陰性ノ所見ニ注意スルコトハ必要デアリマス、次ニ觸診シマス……?」

學生「腫瘍ハ緊張彈力性デ……」

教授「ソレヨリ前ニ先ヅ診ルコトハ……?」

學生「……」

教授「局所ノ溫度ノ上昇ハ……?」

學生「アリマセン。」

教授「ソウデス。コノ局所ノ溫度ノ上昇如何ハ觸診ノ先ヅ最初ニ必ズ診ルベキ事項デアツテ、急性炎症性ノモノデアルカ否カラ鑑別スルノニ重要ナコトノ一ツデアリマス。」

教授「次デコレニ關聯シテ診ルベキ皮膚ノ變化トシテ何ヲ注意スベキデスカ。……急性炎症性ノ場合トカ、循環障礙ノ場合トカニ起ルノハ……?」

學生「浮腫デアリマス。……コノ場合ハ指壓ニヨリ右側ハ壓窩 (Delle) ヲ證明シマスガ、左側ハソレ程デアリマセン。」

教授「ソウデス。浮腫ヲ證明スルノハ指デ押シツケテ壓窩ガ出來ルカ否カニヨツテ判定スルノデスガ、通常ハ脛骨緣等堅イ下床 (Unterlage) ノ上ニ證明スルノデス。コノ場合デハ堅イ下床ハアリマセヌカラ、腫脹部ヲ固定シ、コノ上ニ緊張セシメタ皮膚ヲ壓シテモヨロシイ。コウ云フ事ノ出來ナイ場所、例ヘバ腹壁等デハ皮膚ヲ拇指ト示指トノ間ニツマンデ其厚サヲ比較スルノデス。」

教授「ソレカラ、陰囊ハ正中線ノ左右兩側共ニ腫脹シテ居ル様デアリマスカラ、先ヅ右ノ方カラ診マセウ。」

學生「右側ニ卵形ノ緊張弾力性ノ……………」

教授「……………ソウデスガ、ソノ様ニ言フト記述ガ難カシクナリマス。先ヅ兎ニ角ニ腫瘍ガアルト述ベテ置イテ、サテソレカラ順次ニ精細ナ各種ノ所見、例ヘバ表面ガ平滑トカ、硬度ガドウトカ云フ風ニ順序ヨク診テ行ク方ガヨロシイ。項一項ト記載シテ御覽ナサイ。」

學生「右側ノ辜丸ノアルベキ場所ニ一ツノ腫瘍ガアリマス。其ノ形ハ卵形デ、其ノ大サハ鶏卵大ヨリ大キク、其ノ表面ハ平滑デ、其ノ硬度ハ緊張弾力性デアリマス。」

教授「ソウデス。ソノ様ニ順序ヨク診察致シマスト、所見ヲ見落スコトナク、記述モ容易デス。ソレデ波動ハ……………」

學生「證明シマス。各方向ニ向ツテ證明シマス。」

教授「コウ云フ辜丸ノ如クヨク移動スル物體ニ就テ波動ノ有無ヲ診ルノハ、他ノ場所デスル様ニ、兩手ノ示指端ノ間デ診察スルト往々錯誤ニ陥リマスカラ、此ノ如キ場合ニハ先ヅ右手ノ拇指ト示指トノ間ニ腫瘍ヲ夾ンデ固定シ、次デ左手ノ示指ヲ腫瘍ノ一部ニ觸レテ、右手ノ兩指ヲ壓シテ腫瘍ニ與ヘタ壓力ガ左手ノ示指ニ傳ハルカ否カラ診ルノガ宜シイ。(教授自身波動ノ診察法ヲ示シナガラ)……………明ニ波動ヲ證明シマス。」

教授「ソレカラ、單ニ『波動ヲ證明スル』ト云ハズニ『各方向ニ向ツテ波動ヲ證明スル』ト云フ譯ハ……………」

學生「ソレハ只一方向ノミニ波動ガアツテモコレト直角ノ方向ニハ波動ガナイ場合ガアリマスカラ。」

教授「例ヘバ……………」

學生「例ヘバ正常ナル大腿軟部(筋肉)デハ長軸ト直角ノ方向ニハ明白ニ波動ヲ證明シマスケレドモ、長軸ト一致シタ方向ニハ波動ヲ觸レヌモノデアリマスカラ……………」

教授「ソノ通りデス。……………コレモヨク注意スベキ事項デス。」

教授「サテ辜丸ハ何處ニアリマスカ。」

學生「觸レマセン。」

教授「觸レナイ場合ニハ辜丸感覺 (Hodengefühl) ガ何處ニアルカヲ診ルノデス。……腫瘍ノ後方デ左上方ヲ壓スト患者ハ辜丸感覺ヲ訴ヘマス。」

教授「壓痛ハ……」

學生「アリマセン。」

教授「壓痛ノ有無ヲ診ル時ハ只漫然ト「痛イ」トカ、「痛クナイ」トカ述ベル患者ノ答ノミニ頼ラナイデ、患者ノ表情 (例ヘバ顔ヲシカメル程度トカ、「痛イ」ト答ヘル聲ノ大小、緩急トカ或ハ避忌動作 (Abwehrbewegung) ノ大小トカ) ニ注意スルコトガ必要デアリマス。ソレニ注目スルト壓痛ノ程度ガ大體ニ於テ判明シマス。」

教授「精系ハ……」

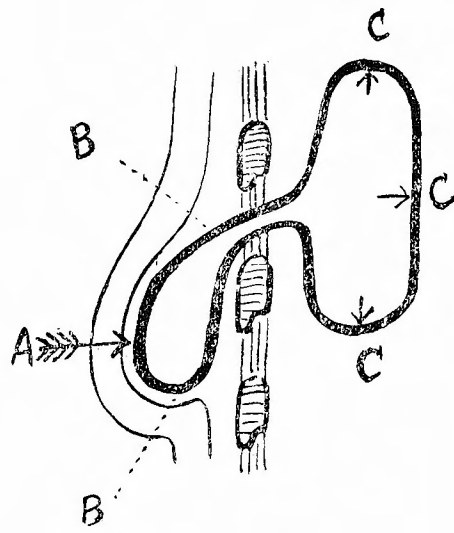
學生「少々肥厚シテ居ル他ニ變ツタコトハアリマセン。」

教授「腫瘍ヲ壓迫シテ診ルト……」

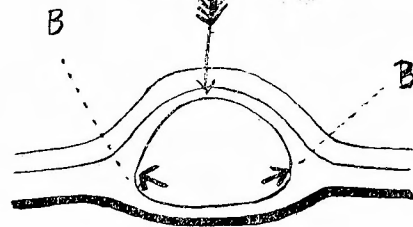
學生「腫瘍ヲ把握シテ壓ヲ加ヘルト腫瘍ノ上極ト健康組織トノ境界ガ更ニ一層明白ニ顯現サレテ其際腫瘍ノ境界ハ健康部ニ對シテ鮮鋭ナ凸面ヲ示シ來リ、精系トハ明ニ分離出來マス。」

教授「非常ニ宜シイ。一般ニ波動ヲ證明スル無痛性ノ腫瘍ヲ見出シタ時ニハ進ンデコレヲ壓迫シ、其ノ結果トシテ腫瘍ノ境界ヲ益々鮮明ニ觸知スルコトガ出來ルカドウカヲ診マス。モシモ此ノ方法デ腫瘍ノ限界ガ益々鮮明トナレバ、ソレハ菲薄ナ膜様物デ包マレタ限局性ノ液體デアリマス。即チ Lymphzyste (淋巴囊腫) Atheromzyste (粉瘤性囊腫) Ranula (蝦蟇腫) Ganglion (腱鞘瘤) Hygrom (關節水腫) Hydrocele (陰囊水腫) ノ如キモノデ非炎症性又ハ極メテ輕度ノ炎症性ノモノデアリマス。之ニ反シテ其ノ液性内容ニ隨分強イ壓迫ヲ加ヘテモ腫脹ノ境界ガ鮮明トナラヌモノモアリマス。此際一ハ

比較的肥厚シタ壁ヲ以テ取り圍マレタ液體デアルカ、或ハ液體ノ一部ガ壓ニヨツテ深部ヘ逃ゲテ行ク爲ニ境界ガ鮮明トナ  
ラナイノデス。(教授ハ第一圖ヲ黑板上ニ描キナガラ)此ノ圖デモ諒解ガ出來ル通り、Aノ部ヲ壓迫シテモ其壓ハ深部ノC  
ニ向ツテ放散シマスカラ、Bナル境界ガ依然トシテ決シテ鮮明ニハナラヌノデアリス。此ノ様ナコトハ結核性ノ流注膿瘍



第壹圖



第貳圖

(寒性膿瘍)ニ特有ノ所見デアリマス。或ハ陰囊  
水腫デアリマシテモ、年月ヲ經過シタ爲ニ其  
ノ壁ガ漸々ニ炎症性ニ肥厚シタ場合デアリマ  
ス。(教授ハ第二圖ヲ描キナガラ)次ニ波動性  
ノ腫瘍ヲ壓迫シテ、腫瘍ノ境界ヲ益々鮮明ニ  
觸知シ得ル場合ハ、此ノ圖ノ様ナ場合(第二  
圖)デアリマシテ、Aノ部ヲ壓迫シマスト其壓  
ハBニ傳ハリマシテ限界ヲ益々鮮明ニ觸知シ  
得ルノデアリマス。ソレ故ニ波動ノアル限局  
性ノ腫脹ニ壓迫ヲ加ヘテ果シテ其ノ限界ガ益  
々鮮明ニ示サレ得ルカ否カラ診察スルコトハ

診斷上必要ナコトデアリマス。此ノ様ナ診察方法ハ從來記載サレテ居ラヌ様デアリマス。今後ハ之ヲ壓迫示界法(Druck-  
abgrenzungsmethode)ト申シマセウ。即チ此ノ患者ノ腫脹ニ就テ、此ノ方法ヲ行ツタ結果壓迫示界(Druckabgrenzung)ハ顯  
著ニ陽性デアリマス。」

教授「腫瘍ニ壓縮性ガアリマスカ。」

學生「證明シマセン。」

教授「ソレハ何ヲ意味シマスカ。」

學生「腫脹内ノ液ガ腹腔ナドト交通シテ居ラヌ證據デアリマス。」

教授「ソレカラ腫瘍ト精系トノ關係ハ……？」

學生「精系ハ腫脹ノ後内方ヲ走ツテ居リマス。」

教授「ソレハ何ヲ意味シマスカ。」

學生「液ハ多分睪丸固有莢膜内ニ溜溜シテ居リ、從ツテ其ノ上極ガ精系ニ沿ヒ其ノ前方ニ位置シテ居ルモノト考ヘラレマス。」

教授「ソレカラ更ニ進ンデドノ様ナ診察ヲ試ミマスカ。」

學生「透照法 (Diaphanoskopie) デス。(懷中電燈ヲ腫瘍ニ密接セシメテ他方ヨリ窺キ) 光ヲヨク透シマス。」

教授「ソレハ何ヲ意味シマスカ。」

學生「ソレハ此ノ液ノ中ニハ光線ヲ反射スル物體、例ヘバ血球、膿球、「コレステリン」結晶板等ガ全ク無イカ、ヨシアツテモ微量デアルコトノ證據デアリマス。」

教授「サテ此ノ腫瘍ヲ覆テ居ル皮膚ト腫瘍トノ關係ハ……？」

學生「陰囊皮膚ハ腫瘍ノ上ヲ自由ニ如何ナル方向ニモ移動セシムルコトガ出來マス。」

教授「ソレハ何ヲ意味シマスカ。」

學生「此ノ腫瘍ニハ急性ニモセヨ、慢性ニモセヨ、免ニ角ニ炎症ノ症候ガ無イト言フコトデアリマス。」

教授「ソレカラ左側ハ……？」

學生「右側ト同様デアリマシテ……」

教授「全ク同様デアリマス。……ソレカラ鼠蹊管ノ方ニ何カ變ツタ所見ハアリマセンカ。」

學生「患者ニ腹壓ヲ命ズレバ鼠蹊管ノ走路ガカスカニ見エ來ル他、變ツタ所見ハアリマセン。」

教授「以上ノ様ナ所見ヲ總合シマス、ドノ様ナ診斷ニ歸着致シマスカ。」

學生「陰囊水腫。」

教授「ツウデス。陰囊水腫ニモ種類ガアリマス。即チ他ノ漿液性滲出液ノ溜ル疾患ト同様ニ漿膜ノアル場所デスカラ通常ハ固有夾膜内ニ淋巴液ガ溜ルノデアリマス。丁度腹膜炎患ニ腹水ノ溜ルト同様ニ、嘗テ腹膜ノ一部デアツタ固有夾膜ニ溜ルノデアリマス。腹膜ノ一部ガ睾丸ト共ニ降下スル時ニ腹膜腔ト全ク遊離シタ、固有夾膜ガ形成サレルノデアリマスガ、或ル場合ニハ腹膜腔ト交通シテ居ルコトガアリマス。カ、ル場合ニ滲出液ガ溜ルト壓ニヨツテ液ノ一部ガ腹腔内ヘ逆流リシマス。コレガ壓縮シ得ルカ否カラ檢シタ理由デアリマス。カ、ルモノヲ交通性陰囊水腫 (Hydrocele communicans) ト云ヒマス。又或場合ニハ此ノ交通路ガ廣クテ、腹腔内容ガコノ内ヘ降下スルコトモアリマス。コレヲ「ヘルニヤ」性陰囊水腫 (Hydrocele hernialis) ト云ヒマス。コレハ陰囊「ヘルニヤ」(Hernia scrotalis) ノ「ヘルニヤ」囊内ニ液ノ潑溜シタモノデアリマス。ソレデアリマスカラ陰囊水腫ノ診斷ニ當ツテハ鼠蹊輪ヲ注意スル事ガ必要デアリマス。又コノ交通路ノ一部ガ腹腔トモ又固有夾腹トモ遊離シテ残り、コノ内ニ同様ナ滲出液ガ溜ル場合ガアリマス。コレヲ精系水腫 (Hydrocele funiculi spermatici) ト云ヒ、固有夾膜ニ溜ツタ場合ヲ陰囊水腫又ハ夾膜水腫 (Hydrocele testis; H. vaginalis) ト云ヒマス。前者ニ於テハ睾丸ハ觸診スルコトガ出來マスガ、精系ハ腫瘍ノ内下方ヲ走り腫瘍ノ下ニ當ツタ部分ヲ分離觸診スルノハ困難デアリマス。後者ハ只睾丸感覺ヲ頼リニ位置ヲ知り得ルノミデ、囊胞ガ大ナレバ大ナル程直接睾丸ヲ觸診スルコトガ出來マセン。シカシ精系ハ觸診スルコトガ出來マス。」

教授「内容ガ炎症性ノモノ即チ滲出液 (Exsudat) デアルカ或ハ非炎症性ノモノ即チ透滲液 (Transsudat) デアルカト云フ區別ハドウ致シマスカ」

學生「化學的ニ蛋白量ヲ測ルトカ、比重ヲ檢スルトカ、又ハ Rivalta 氏ノ試驗方法等ガアリマス。」



教授「ソウデス。種々ナ方法ニヨツテ決定スルコトガ出來マス。……サテカ、ル液體ノ溜ル原因ハ……?」

學生「炎症デアリマス。」

教授「辜丸又ハ副辜丸ノ炎症ニヨツテ固有夾膜内ニ液ガ溜ルコトガ屢々アリマス。カ、ルモノヲ徵候性陰囊水腫 (Hydrocele symptomatice) ト云ヒマス。……其ノ他ニ……?」

學生「……………」

教授「此ノ患者ノ如ク辜丸、副辜丸ニ炎症ガ認メラレナイ場合ニ於テハ、所謂「リウマチ性」 (Rheumatische Natur) ト考ヘルノデアリマス。元來 Rheuma トハ「流サレテ持チ去ラレル」トノ意味デアツテ、Das Reissen (持チ去ラレル様ナ「痛ミ」或ハ Gliedreissen (關節痛)ヲ意味シ原因不明デ手足ガ不自由ニナツタコトヲ指シマス。何カ一種ノ病原菌ガアルノデアリマセウガ、ソレガ不明デアル場合ニハ凡テ「リウマチ性」ト言フノデアリマス。多クハ葡萄狀球菌、連鎖狀球菌等ノ感染ガ考ヘラレマス。故ニ心内膜炎、心囊炎、肋膜炎等ガ同時ニアルコトモアリマス。此ノ患者デハ併シ此等ノ所見ハ證明シマセン。扱、治療法ハ……………」

學生「手術的ニ囊胞ヲナクシマス。」

教授「穿刺ヲ行ツテ一時液ヲ排出シテモ、病的囊胞ノアル限り根治シマセスカラ、觀血性ニ固有夾膜腔ヲ無クシマス。固有夾膜全體ヲ除去スルノハ困難デモアリ、必要モアリマセスカラ、直接辜丸ヲ固ク包ム部分ヲ殘シマス。Volkmann 氏ノ方法ト Winkelmann 氏ノ方法トガ最モ廣ク行ハレマス。本例ハ後者ニヨツテ手術致シマス。」

手術所見。先ヅ左側鼠蹊部ヨリ左側陰囊根部ニ掛テ八糰ノ皮切ヲ加ヘ、辜丸ヲ脱臼セシメ、固有夾膜ヲ切開セルニ水様透明液二〇〇立方糰ヲ得タリ。Winkelmann 氏法ニ從ヒテ固有夾膜ヲ廣ク切除シテ、殘部ヲ翻轉シ、副辜丸部ヲ包ミ、全體ヲ還納セル後、皮膚ヲ縫合ス。右側ヲモ同様ニ所置ス。内容液ヲ檢スルニ Brucella 氏反應ハ陰性ナリキ。即チ炎症性滲出液タルベクシテ猶且蛋白含有量微少ナリキ。(以上)